



# 西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校  
令和7(2025)年度2月号  
<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》  
◇心豊かな人  
◇自ら学ぶ人  
◇健康な人  
『自主自律』の精神

## 令和7年度 教育調査の結果について

副校長 大金 泰光

令和7年度の教育調査にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果とその分析について報告いたします。昨年度に引き続き、生徒への教育調査を除き、保護者の皆様及び学校運営協議会委員の皆様へは済美教育センターから直接質問をさせていただきました。

調査の結果は肯定率の数値を用いています。肯定率とは回答の「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合で、青字は前年度の肯定率を上回ったものを表しています。回答の中で肯定率が低いものもありますが、その原因の多くは否定的な回答が多いからではなく、「どちらともいえない」や「回答できない」と回答した割合が高いことにあります。

### 1 生徒対象の教育調査の結果

教育調査（生徒対象）の結果（肯定率）＊青字は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：90.0%（R5） 91.3%（R6） 91.3%（R7）

	質問内容	本校肯定率の推移		
		R5	R6	R7
1	先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	86.2%	84.6%	84.2%
2	授業では、学習を進める方法やベースを、自分で決めながら学んでいる。	55.6%	61.1%	65.7%
3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	41.2%	53.3%	56.4%
4	授業では、自分の興味に基づいて問い合わせや課題を立てて学んでいる。	53.4%	57.1%	54.1%
5	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	81.7%	84.6%	81.8%
6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	80.7%	84.6%	80.9%
7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	74.6%	79.6%	74.3%
8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	93.6%	94.7%	95.0%
9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	76.2%	79.9%	79.9%
10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	77.5%	82.4%	81.8%
11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	74.9%	80.9%	81.8%
12	学校や家などで、1か月に本、新聞、雑誌、調べ物をするための資料などを読んだ。	84.9%	81.8%	75.2%
13	地域の行事に参加している。	24.4%	33.2%	34.0%
14	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	46.9%	56.1%	55.8%
15	先生は、整理・整頓や清掃について、話をしたり考え（活動）させたりしている。	61.4%	72.1%	70.0%
16	先生は、体験的な活動や調べてみる学習に進んで取り組めるように指導をしてくれている。	67.2%	73.4%	73.6%
17	先生は、あいさつの励行やきまりを身に付け、学校生活が向上するよう指導をしてくれている。	83.0%	88.7%	84.2%
18	先生は、学級活動や生徒会活動・学校行事に進んで取り組めるように指導をしてくれている。	76.8%	83.7%	80.2%
19	先生は、将来の進路や生き方・働くことの意味について、先生や友達と相談したり、考えたりすることができるよう指導をしてくれている。	70.4%	73.4%	74.6%
20	先生は、いじめや仲間はずれなどなく、相手の立場を考え、互いに協力し合える関係がつくれるように指導してくれている。	76.5%	80.6%	83.8%
21	先生は、相談にのってくれたり、意見を尊重したり、励ましたりしてくれている。	75.6%	78.7%	77.6%
22	先生は、学校生活が充実し、楽しめるように指導してくれている。	78.5%	81.2%	78.2%
23	友達や先生に対して、気持ちの良いあいさつができる。	78.8%	80.3%	82.5%
24	学級・学年活動や生徒会活動・部活動を通して、自分の役割を果たし、自己の有用感や成就感を味わっている。	71.1%	73.4%	72.3%
25	I C Tを活用した授業では、発言・発表の機会を増やし、生徒が互いに学び合う活動を多く取り入れてくれている。	71.7%	76.2%	75.9%
26	小中連携における小学生と中学生の交流や、上級学校訪問などを通しての進路学習を進めることは、とても意義のあることである。	57.6%	64.9%	68.6%
27	中学生レスキュー隊や地域の祭礼・行事等でのボランティア活動へ積極的に参加している。	28.9%	32.0%	37.0%
28	先生方は、生徒の呼び方や生徒への声掛けの際の言葉遣いに、十分気を配っている。	73.3%	76.8%	78.2%

## 2 保護者対象の教育調査の結果

教育調査（保護者対象）の結果（肯定率） \* 青字は前年度の肯定率を上回ったもの 本校の回答率：48.3%（R6） 55.9%（R7）

	質問内容	本校肯定率の推移			区全体
		R 6	R 7	R 7	
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。	65.1%	61.0%	60.2%	
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方方が身に付いている。	73.8%	73.3%	69.6%	
3	子どもは、学校で人権に関する多様な価値観について学んでいる。	48.8%	71.1%	63.4%	
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	48.3%	52.9%	53.3%	
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	52.3%	50.3%	46.6%	
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	70.3%	73.8%	69.4%	
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	29.7%	38.0%	40.4%	
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	54.7%	71.1%	50.0%	
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。	77.9%	79.7%	68.2%	
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	89.0%	93.0%	88.6%	
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	58.1%	58.3%	49.7%	
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	47.7%	53.5%	41.0%	
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。	12.8%	22.5%	31.4%	
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	79.7%	80.7%	74.2%	

## 3 学校運営協議会委員対象の教育調査の結果

教育調査（学校運営協議会委員対象）の結果（肯定率） \* 青字は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：100%（R5） 90.0%（R6） 90.0%（R7）

	質問内容	本校肯定率の推移			区全体
		R 5	R 6	R 7	
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問い合わせや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	90.0%	100.0%	100.0%	81.4%
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	80.0%	77.8%	100.0%	84.1%
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	90.0%	88.9%	100.0%	78.8%
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭や地域、民間の団体や企業等と連携している。	80.0%	88.9%	88.9%	83.2%
5	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	90.0%	100.0%	77.8%	69.9%
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	50.0%	55.6%	77.8%	56.6%
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている。	90.0%	100.0%	100.0%	88.5%

## 4 結果の分析

### （1）生徒対象

○今年度の生徒の肯定率について、質問項目28個のうち12項目で昨年度の数値を上回りました。肯定率が50%未満の項目は、「【質問13】地域行事、【質問27】ボランティア活動」でした。なお、生徒対象の教育調査は他の教育調査とは異なり、済美教育センターが実施するものではなく本校独自の調査のため、区全体の肯定率は出ておりません。

○「【質問13】地域行事」の肯定率の推移を見てみると、一昨年と比較して約10ポイント、昨年と比較して約1ポイント上昇しています。同様に、「【質問27】ボランティア活動」の肯定率は一昨年と比較して約8ポイント、昨年と比較して5ポイント上昇しており、生徒の参加意識は年々上昇しております。

○「【質問13】地域行事」及び「【質問27】ボランティア活動」については本校の有志生徒やボランティア部、生徒会本部役員等による「ホタル祭りクリーンボランティア」への参加や「高井戸第二小学校の運動会支援」、「ふれあい運動会支援」等の活動が実施できました。また、9月には「ゆうゆう久我山館」の敬老会においてボランティア部がお手伝いを、吹奏楽部が演奏を行いました。さらに吹奏楽部は7月に「宮前五丁目南・北地区防災防犯会共催七夕コンサート」や10月の「高井戸区民センター祭り」にも参加し、地域の皆様に演奏を披露し、パフォーマンスを観ていただきました。

○「ホタル祭りクリーンボランティア」への参加者は例年約50名程度だったものが、昨年度は84名が、そして今年度は90名の生徒が早朝の清掃活動に参加しました。また、杉並区中学生レスキュー隊の活動では、合同訓練や東京消防庁の防災施設での見学及び防災体験、西宮中学校震災救援所の役員の皆様の指導を受けての年3回の訓練等を実施しています。今後はさらに多くの生徒がこのような活動に参加できるよう工夫してまいります。

## (2) 保護者対象

○本校の肯定率は、ほとんどの質問項目で区全体の平均を上回っています。また、質問項目14個のうち11項目で昨年度の数値を上回りました。肯定率が50%未満の項目は、「【質問7】多様な場や道具の選択、【質問13】特別支援学校・学級との交流」でした（どちらも昨年と比較すると、それぞれ10ポイント近く上昇しています）。

○【質問7】多様な場や道具の選択については、生徒が学習する上でその環境を整えることは大切であり、学習にふさわしい場を設定したり、そのような雰囲気を作ることはとても意味があることだと考えています。杉並区では昨年度、全学級に最新の電子黒板が設置し、授業を実施する上で利便性が大きく向上しております。さらに今年度は生徒が使用するタブレット端末も最新のものに入れ替わっております。これらのことから、生徒にとっては協働的な学びが促進されるなど教育効果が大いに高まりました。小学校とは異なり、中学校という資源が限られている環境の中で、今後も最大限の工夫と努力を重ねてまいります。

○【質問13】特別支援学校・学級との交流については、巡回の特別支援教室教員や関係機関と連携し、会議や校内研修会等において理解を深めるよう努めております。ボランティア部では杉並第十小学校を会場に「ふれあい運動会」に参加し、障害をもつ子どもたちと交流を深めました。保護者の皆様にも、こうしたことやその成果が感じられるよう工夫してまいります。

## (3) 学校運営協議会委員対象

○ほとんどの質問項目で肯定率が80%を上回り、高い評価をいただきました。また、区の平均を下回る項目はありませんでした。この評価を維持し、さらに向上できるよう、今後も教職員一丸となって子どもたちのために教育活動を開拓してまいります。

## 3年生への受験応援メッセージ

生徒会役員が、全校生徒が3年生の受験合格を祈願するために、絵馬に応援メッセージを書くことを企画しました。生徒会役員は、長い時間をかけて絵馬の配布や回収、レイアウト作成、貼り付けなどを頑張ってくれました。この絵馬のメッセージは、3階の3年生フロアの前の廊下に掲示しています。去年とは下地を変更し、より鮮やかに明るい印象で作成しました。今受験直前で勉強に励んでいる3年生のみなさん、西宮中学校の生徒一人ひとりからのメッセージを見て、受験勉強ラストスパート頑張ってほしいと思います。先生、生徒一同、西宮中学校からみなさんの頑張りを応援しています。（生徒会担当）



## 書初めの結果

今年度も西宮中学校の生徒の中から力作が選出され、区役所にて1月16日～23日の日程で、「杉並区書初め展」に出品しました。また東京都公立学校美術展覧会に3年A組女子の作品が選出されました。さらに、「東京都中学校 書初め紙上展」に学校代表として2,3年生が出品しています。1・2階階段踊り場には、杉並区の学校代表になった作品を一部展示しています。ぜひ、ご覧ください。（国語科）

《東京都公立学校美術展覧会出展者》 3A 女子 「雄大な自然」

《 杉並区書初め展出展者 》

3B 女子・3B 女子 「生命の尊重」

2A 女子・2A 女子 「光輝を放つ」

1A 女子・1A 女子 「平和祈念」

《 書初め紙上展出品者 》 3A 女子 3B 女子 2A 女子



## 特別支援教育

特別支援教室の目的は、学習上又は生活上の困りごとを改善し在籍学級で有意義な学校生活を過ごせるようなることです。特別支援教室「学びの教室」の募集は随時実施していますが、現在は来年度後期から指導開始になります。ご心配なございましたら、学級担任、特別支援教育コーディネーターなどにご連絡ください。

入室を希望する場合は、心理検査を受ける必要があります。心理検査は、かかりつけ医療機関（有料）または済美教育センター（無料）で受けることができます。検査の実施・結果が出るまで時間がかかりますので、早めにご相談ください。（特別支援教育コーディネーター担当）

### 学校生活でこのようなことはありませんか

#### 気持ちの切り替えが難しい

- 場の空気を読み、状況を判断して動くことが苦手である。
- 好きなことに集中しすぎて、それ以外がおろそかになる。
- 急な予定の変更などにパニックを起こすことがある。



#### 不注意で気が散りやすい

- 整理整頓が苦手で、忘れ物が多い。
- 授業やテストなどに集中できず、うっかりミスが多い。
- 音や光、皮膚感覚に過敏に反応して集中できない。



#### 勉強に得意不得意があり、力を発揮しにくい

- 授業には参加できても、音読、読解、聞き取り、作文、書字、計算、推論するなど特定の分野が極端に苦手である。
- ノートをとることが難しく、授業に集中できない、課題を提出できないことがある。

#### コミュニケーションがうまく図れない

- 思ったことをそのまま口にしてしまったり、自分をうまく表現できなかったりして、友だち関係がぎくしゃくする。
- 興味や関心があることを一方的に話すことがある。
- 人の気持ちを察することが苦手で、相手の反応を気にしない。

## 部活動の大会結果報告

### <吹奏楽部>

第11回東京都吹奏楽新人大会 金賞

第59回東京都中学生アンサンブルコンテスト 管楽七重奏 銀賞



### <バレーボール部>

令和7年度 杉並区スポーツ祭 第3位

令和7年度 第3ブロック交流会 第3位

第4回 芦花カップ 第2位

令和7年度 ビギナーズカップ 第1位

## 《2月の主な行事予定》

- 2日（月）朝学習(1年)国(2年)英(3年)数 始
- 4日（水）移動教室（2年）始  
杉教研一斉研究会
- 6日（金）移動教室（2年）終  
校外学習（1年）
- 11日（水）建国記念の日
- 13日（金）小中一貫教育研修会（発表会）  
朝学習(1年)国(2年)英(3年)数 終
- 14日（土）新入生保護者説明会
- 16日（月）アフタースクールスタディ始  
朝学習(1年)数(2年)国(3年)英 始

○ 19日（木）避難訓練

○ 20日（金）朝学習(1年)数(2年)国(3年)英 終

○ 21日（土）都立一次前期検査

アフタースクールスタディ 終

○ 23日（月）天皇誕生日

○ 24日（火）第4回定期考查 始

○ 26日（木）第4回定期考查 終 専門委員会

○ 27日（金）展示会準備

○ 28日（土）西宮祭展示会 始

落語鑑賞教室（1年）

行事予定に変更がある場合は、totoru、または書面等で、速やかにご連絡いたします。